78 C	7. · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	昆山山南
項目	確認事項 十一分年 2.1 (日本土 一)	届出内容
	大学等名1(代表大学等)	金沢大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カナザワダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	「創成研究Ⅰ」「創成研究Ⅱ」
	学部•研究科等名	大学院自然科学研究科
	担当教職員名·役職	田村和弘·教授
本	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	9
情	受入企業等数	6
	受入企業等名	記載しない(企業の了解を得ていないため)
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ.4.他県をまたぐ広域インター
		ンシップ.6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ.7.中小企業
		でのインターンシップ.8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協
		でのインダーンシック。6.地元正来・経済団体で地方公共団体等との協 働による地域密着型のインターンシップ
		側による地域省有型のインダーンンツノ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
-	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:
		ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究
要		等)
素	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
1	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業・官公庁に赴いて特定の研究テーマ・技術的課題に、企業側研
	1-3.工品回合門谷に関する許和(記处側)	
		修担当者・本学教員とともに連携して取り組み、企業側関係者・本学
		教員の前でその内容についてプレゼンテーションを行う。
		1.はい
	ス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を	
	明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われて	
	いますか。	
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該イ
	2 2.18 = 9 0 1 2 9 7 0 2 9 7 0 P 1 A	ンターンシップは、選択科目として実施している.7.当該インターンシッ
		プは、授業期間中に実施している8.当該インターンシップは、休業期
要	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	間中に実施している
素		
2	2-3. 当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	博士前期課程1年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	創成研究Ⅰ2単位/創成研究Ⅱ2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	夏期休業中及び後期授業期間(10月~1月)中に授業科目「創成研究
		Ⅱ」として長期派遣型インターンシップ(大学で実施する予備実験等
		の準備期間を含む120時間以上)を実施。受講者の希望するインター
		ンシップ課題と企業側の課題テーマとのマッチングを行うことで、学生
		の主体性・アイディアに基づいたインターンシップを通じ、その専門性
		の社会還元と経験を積むことにより、高い就業意識と職業観の育成
		につなげる努力をしている。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的	1はい
	のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間	1110-12
	が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮さ	
	れるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していま	
	すか。	
		・ サルール ー・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコン
		の使用方法等を身に付ける授業等を行っている。2.学生が受入企業の
		事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。3.学生に対して、
		インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を
		行っている。4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシッ
		プの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行ってい
		る、2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や
		担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目
要		標等の達成について確認を行っている
素	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
3	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面
_		談を実施している。2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等に
		おいて教職員と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	前期開講授業科目「創成研究 I 」(全15回)の事前教育科目の中で、
		インターンシップの趣旨や目的の理解(1回)、自己分析・業態研究と
		キャリアパス形成演習(3回)、安全管理・ヒューマンエラー演習(2
		回)、知的財産・機密保持に関する講義(3回)、派遣候補先企業の課
		題提案の分析(3回)等を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	後期開講授業科目「創成研究Ⅱ」では、長期派遣型インターンシップ
		中に、その進行状況や問題点とその解決方法を、毎週1回提出される
		週間実績報告書を用いて振り返りを行っている。また、本学教員や在
		型筒ス積取日音を用いて振り返りを行うている。また、本子教員では 学生のほか、受入企業側研修担当者を招いて成果報告会を実施して
		いる。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	企業派遣中の区切りとなる時期を数回設定し、学生・企業・教員間で
		三者あるいは二者面談による進捗状況報告を実施している。
	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手	1.はい
	法・仕組みを取り入れていますか。	
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施
要		し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。4.その他

● 会会での発表に対してベストプレゼンテーション賞を設け、優秀な生を研究科長から表彰する制度をつくっている。 4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) 5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップ しまい ファーションに基づいて評価する。 5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップ しまい ファーションに基づいて評価する。 5-2.該当する実施期間 の組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している2 事前・事後学習を含わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) 5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄) 5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) 5-2.以外の実施期間の内容(記述欄) 6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の 最大化に劣めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 6-2.政外で実施している大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 6-2.政外で実施している大学等と企業の協働取組の内容 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、表していますか。 6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、表とは働して対象でといる。と担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学を有必要な支援を行っている 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、表を設計している2、大学等のも3、事前・事後学習を除いて、受入先企業で10-24日間の日数で実施しているよう事前・事後学習を除いて、受入先企業で10-24日間の日数で実施している。で必要な支援を行っている。 5-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) 6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) 6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) 5-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述機) 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述機) 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述機) 6-3.上記回答内容に関する対は、など、大学を表しませいためまして表しませいませいよりに関する対は、など、大学等のよりに関すると思するは、など、対は、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに関するは、などに対するは、などに関するは、などに対するは、などに対するは、などに対するは、などに対するは、などに対するは、などに対するは、などに対するは、などに対するは、などに対するは、などに対するは、などに対するは、などに対するは、などに対するは、な			
5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップ の実施期間を確保していますか。 5-2. 該当する実施期間 の組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している。2 事前・事後学習 5-2. で1.連続した5日間以上の実施期間を確保している。2 事前・事後学習 5-2. で1.連続した5日間以上の実施期間を確保している。2 事前・事後学習 5-2. で1.連続した5日間以上の実施期間を確保している。2 実施期間10-30日間 5-2. で1.連続した5日間以上の実施期間を確保している。 実施期間10-30日間 5-2. で1.連続した5日間以上の実施期間を確保している。 実施期間10-30日間 (うちインターンシップ実施期間10-24日) 第 2. 定義期間 5-2. で13.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) 5-2. で13.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄) 5-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄) 事前・事後学習を除いて、受入先企業で10-24日間の日数で実施している。 6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容 1. 企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、協働してまか。 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容 1. 企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮している。 7. 上記回答内容に関する詳細(記述欄) 第 1. 企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮している。 2. 大学等・1. 当まが学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学等の事が事を学習を除いて、で必要な支援を行っている。 2. 大学等・1. 企業から大括りの課題で高談の場を設けている。 2. 大学施中ラ女・2. 定義担当者と参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善対するフィード・バックの機会を設けている。 成果発表会には受入企業担当者とから大括りの課題を変していただいでいる。 7. 上記の一ので回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL 大学等名 2. 定別できる大学等のウェブサイトのURL 2. 大学等名 2. 企業大学 理工系事務部学生課大学院係			
の実施期間を確保していますか。			評価は週間実績報告書・実施報告書及び成果報告会でのプレゼン テーションに基づいて評価する。
1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、素を調けている。表別を表している。表別を表している。といる。といる。大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	-		1.はい
5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述機) 実施期間10-30日間(うちインターンシップ実施期間10-24日)		5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している.2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
*** *** ** ** ** ** **			
1.	素		実施期間10-30日間(うちインターンシップ実施期間10-24日)
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	(5)		
いる。 1.はい 1.はできか。 1.はい 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、業と協働してインターンシップブログラムを設計している.2 大学等か 5事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している.3 企 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、業と協働してインターンシップブログラムを設計している.2 大学等か 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、業と協働してインターンシップログラムを設計している.3 企 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、業とは働してインターンシップログラムを設計している.3 企 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、実施している.2 大学等の 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、実施してインターンシップログラムを設計している.3 企 1.企業や産業等は働してインターンシップログラムを設計している.3 企 1.企業や産業の事業を持つている。 1.企業や産業の事業を持つている。 1.企業や産業の事業を表し、は働してディンターンを設け、に対して必要な支援を行っている。 1.企業や産業を持つている。 1.企業や産業を登録している。 1.企業や産業等のは、関して実施している.2 全議や目的を受入企業に御理解いただいたとで学生が企いを表している。 1.企業や産業が、大着りの課題によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに		5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等本で必要な支援を行っている。 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学とて必要な支援を行っている。 6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) 事前に意義や目的を受入企業に御理解いただいた上で学生が企き と協働し、実務経験を積み、更に学生との協議により課題内容の何正が可能なように企業から大括りの課題提案をいただいている。 た実施中も受入企業担当者と本学教員との面談の場を設け、受入に係る負担感の軽減に努めている。成果発表会には受入企業担 者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善 対するフィードバックの機会を設けている。 7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL http://www.se.kanazawa-u.ac.jp/sangaku/ 1 大学等名 金沢大学 1 世当者役職名 理工系事務部学生課大学院係		5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前·事後学習を除いて、受入先企業で10-24日間の日数で実施している。
していますか。 1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が			1.はい
1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、		最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計	
要素 ⑥ 6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) 「大学等名 1 世当部署名 1 実等名 1 世当部署名 1 実際と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等から事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企 担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学をで必要な支援を行っている 事前に意義や目的を受入企業に御理解いただいた上で学生が企会は協働し、実務経験を積み、更に学生との協議により課題内容の傾正が可能なように企業から大括りの課題提案をいただいている。1 た実施中も受入企業担当者と本学教員との面談の場を設け、受入に係る負担感の軽減に努めている。成果発表会には受入企業担者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善対するフィードバックの機会を設けている。 1 大学等名 1 世当部署名 1 まない表す。 第 大学等名 1 世当者役職名			
世当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学とて必要な支援を行っている 6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄) 事前に意義や目的を受入企業に御理解いただいた上で学生が企会協働し、実務経験を積み、更に学生との協議により課題内容の傾正が可能なように企業から大括りの課題提案をいただいている。では、大学等名 1世当者と確義とは、大学を表している。で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL 1世 大学等名 1世当者と確名 1世当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学とて必要な支援を行っている 事前に意義や目的を受入企業に御理解いただいた上で学生が企会協働し、実務経験を積み、更に学生との協議により課題内容の傾正が可能なように企業から大括りの課題提案をいただいている。では、「大学生との協議により課題内容の検証に努めている。成果発表会には受入企業担者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善対するフィードバックの機会を設けている。 1たと記載し、実施といる。 1たといるといる大学生産の協働取組の内容(記述欄) 第前に意義や目的を受入企業に御理解いただいた上で学生が企業は関連を表現します。 1たませいます。 1たまするといるといる大学生産の協働取組の内容(記述欄) 1たまするとは、「大学生産の協議により課題内容の検証とは、「大学なのでは、「大学等名」は、「大学等名」は、「大学等名」は、「大学を表現し、「大学を表現し、「大学を表現し、「大学を表現し、「大学を表現し、「大学を表現している」とは、「大学との協議により課題内容の検証といる。「大学生産人の関係となる、「大学生産人の関係となる、「大学生産人の関係となる、「大学生産人の関係となる。」とは、「大学生産人の関係となる、「大学生産人の、「大学生産人の関係となる、「大学生産人の、「大学	要	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企 業と協働してインターンシッププログラムを設計している,2.大学等が行
で必要な支援を行っている6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)事前に意義や目的を受入企業に御理解いただいた上で学生が企会と協働し、実務経験を積み、更に学生との協議により課題内容の修正が可能なように企業から大括りの課題提案をいただいている。である負担感の軽減に努めている。成果発表会には受入企業担当者と本学教員との面談の場を設け、受入に係る負担感の軽減に努めている。成果発表会には受入企業担者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善対するフィードバックの機会を設けている。7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURLhttp://www.se.kanazawa-u.ac.jp/sangaku/10 大学等名 担当部署名 担当者役職名金沢大学 理工系事務部学生課大学院係			う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している、3.企業
たります。			
6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)			て必要な支援を行っている
と協働し、実務経験を積み、更に学生との協議により課題内容の修正が可能なように企業から大括りの課題提案をいただいている。また実施中も受入企業担当者と本学教員との面談の場を設け、受入に係る負担感の軽減に努めている。成果発表会には受入企業担者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善対するフィードバックの機会を設けている。 7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL 大学等名	6		士光, 女关, 口, 4, 4, 5
正が可能なように企業から大括りの課題提案をいただいている。 た実施中も受入企業担当者と本学教員との面談の場を設け、受入に係る負担感の軽減に努めている。成果発表会には受入企業担者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善対するフィードバックの機会を設けている。 7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL		6-3.上記回答内谷に関する詳細(記述欄)	
た実施中も受入企業担当者と本学教員との面談の場を設け、受入に係る負担感の軽減に努めている。成果発表会には受入企業担 者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善 対するフィードバックの機会を設けている。 7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されて いるシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL 大学等名 担当部署名 担当者役職名 た実施中も受入企業担当者と本学教員との面談の場を設け、受入 に係る負担感の軽減に努めている。成果発表会には受入企業担 者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善 対するフィードバックの機会を設けている。 http://www.se.kanazawa-u.ac.jp/sangaku/ ・ 公沢大学 理工系事務部学生課大学院係			
に係る負担感の軽減に努めている。成果発表会には受入企業担 者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善 対するフィードパックの機会を設けている。 7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されて いるシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL 大学等名 金沢大学 担当部署名 世工系事務部学生課大学院係 担当者役職名			
者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善対するフィードバックの機会を設けている。 7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL http://www.se.kanazawa-u.ac.jp/sangaku/ 1 大学等名 金沢大学 1 担当部署名 理工系事務部学生課大学院係			に係る負担感の軽減に努めている。成果発表会には受入企業担当
対するフィードバックの機会を設けている。 7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL http://www.se.kanazawa-u.ac.jp/sangaku/ 10 大学等名 20 金沢大学 10 担当部署名 40 理工系事務部学生課大学院係			者も参加し、評価コメントを頂く事で今後のインターンシップの改善に
いるシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL 間 大学等名 金沢大学 比 担当部署名 理工系事務部学生課大学院係 自 担当者役職名 担当者役職名			
問 大学等名 い 担当部署名 自 理工系事務部学生課大学院係 担当者役職名			http://www.se.kanazawa-u.ac.jp/sangaku/
取 担当部署名 理工系事務部学生課大学院係 自 担当者役職名	BB.		I A 17 L W
合 担当者役職名			
	_		性工术学物型于工体人于例像
わ	わわ	担当者氏名	
電話番号 076-234-6817			076-234-6817
先 メールアドレス intern@adm.kanazawa-u.ac.jp			